

★新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2023★
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO Ballet for Children 2023

エデュケーショナル・プログラム

白鳥の湖

Educational Programme-First Steps: Swan Lake

＊初めてバレエを観るお子様にもぴったり！
古典バレエの最高傑作を楽しい解説つきで上演

2023年
7月28日(金) 13:00/16:00
7月29日(土) 13:00/16:00
7月30日(日) 13:00/16:00

後援：渋谷区教育委員会／東京都立小学校長会／東京私立初等学校協会
特別協賛：京王電鉄株式会社
協賛：株式会社 小学館
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
三菱重工機械システム株式会社
協力：株式会社 ロッテ



新国立劇場

オペラパレス OPERA PALACE



振付：マリウス・プティパ/レフ・イワノフ/ピーター・ライト
音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
美術・衣裳：フィリップ・プロウズ
照明：ピーター・タイガン
Choreography by Marius PETIPA, Lev IVANOV and Sir Peter WRIGHT
Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY
Set and Costume Designer: Philip PROWSE
Lighting Designer: Peter TEIGEN

芸術監督：吉田 都
指揮：雷田実里
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Artistic Director: YOSHIDA Miyako
Conductor: TOMITA Misato
Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra



はじめての観劇に！古典の最高傑作を解説付きで楽しもう

バレエ芸術、そして生の舞台の魅力を体験していただく、新たな教育プロジェクト、「エデュケーショナル・プログラム」。今回は2023年6月に全幕上演が予定されている『白鳥の湖』を題材に上演いたします。

進行役によるライト版で多く用いられるマイムの解説、ストーリー展開のナレーションなどを挟みながら、第3幕を中心に『白鳥の湖』の魅力を凝縮してお届けします。初めてバレエを観るお子様にも親しみやすく、バレエや劇場の魅力を知っていただき、舞台鑑賞を始めるきっかけとなるようなプログラムです。

オリジナル・プロダクション：バーミンガム・ロイヤルバレエ「First Steps: Swan Lake」

プログラム内容&おすすめポイント

1. はじめてバレエを鑑賞するお子様にもぴったり！

一流のダンサーの踊りとオーケストラによる生演奏で『白鳥の湖』の魅力を味わおう！



新国立劇場では、次世代を担うこどもたちが優れたバレエ芸術に親子で触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施しています。

今回はバレエの代名詞ともいえる『白鳥の湖』を取り上げ、バレエをつくりあげる様々な要素を楽しく知ることができるプログラムを上演します。

新国立劇場バレエ団ダンサーによって踊られる舞台は、お子様だけでなく大人の方にもご満足いただける高いレベルのものです。オーケストラによる生演奏での上演で、有名な小さい4羽の白鳥の踊りや第3幕のお城の舞踏会での民族舞踊、主役の踊りなどの見せ場を盛り込みつつ、上演時間は約1時間ほど。「バレエ鑑賞デビュー」を考えていらっしゃるご家族に自信を持ってお勧めできるプロダクションです。



2021年『白鳥の湖』公演より 撮影：鹿摩隆司

2. 一緒にマイムをやってみよう！体験型の舞台観劇でバレエを楽しむ



今回の「エデュケーショナル・プログラム」は進行役の俳優が客席に向かって語りかけながら舞台が展開していく、双方向のコミュニケーションが楽しめるプログラムです。

中でもバレエに登場する仕草と一緒にやってみるコーナーはバレエ鑑賞のポイントを知るのにぴったり！バレエでは言葉を使わない代わりに“マイム”というジェスチャーで語りますが、中でも王子とオデットの出会いの場面では、オデットが自らの境遇をマイムで語ります。そのマイムを、言葉を喋りながら説明し、さらには客席の皆さんも一緒にマイムに挑戦してみます。

総合芸術といわれるバレエでは、踊り以外にもオーケストラや舞台美術、照明など、大切な役割を担っているものがたくさん。オーケストラはどんな風に演奏しているのか、それぞれの楽器の響きはどんな風に聴こえるのか、進行役と指揮者・オーケストラが掛け合いながら説明します。



3. ホワイエでも舞台の秘密を知ろう！衣裳展示コーナー

会場では展示コーナーも設け、『白鳥の湖』の衣裳を展示します。客席から見たあの衣裳は近くで見るとどのようなになっているのか、舞台衣裳にはどのような工夫が凝らされているのか、解説なども展示予定。公演の前に、またはお帰りの際に、ぜひ展示コーナーをご覧ください。



※写真はイメージです

スタッフプロフィール



【振付】ピーター・ライト (Sir Peter WRIGHT)

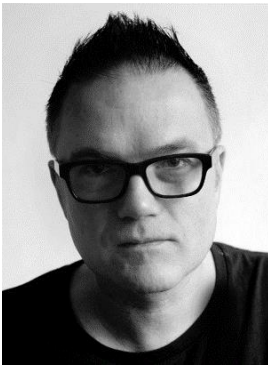
ロンドン生まれ。複数のバレエ団でダンサーとして活躍。1957年サドラーズウェルズ・シアター・バレエで最初の振付作品『青いバラ』を創作。59年サドラーズウェルズ・オペラでバレエ・マスター、英国ロイヤルバレエ学校でバレエ教師を務める。61年ジョン・クランコ設立のシュツットガルト・バレエ団でバレエ教師及びバレエ・マスターとして活躍。シュツットガルト・バレエ団で初演された初の改訂振付作品『ジゼル』は、後に英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエを始め世界の多くのバレエ団で上演。この他にも『眠れる森の美女』『コッペリア』『白鳥の湖』など彼の改訂した古典作品は世界各国のバレエ団でレパートリーとして上演されている。60年代テレビでのバレエ作品やウェスト・エンドのミュージカルの分野でも成功を収めた。69年ケネス・マクミランのアソシエイト・ディレクターとして英国ロイヤルバレエに戻り、77年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ (後のバーミンガム・ロイヤルバレエ) の芸術監督に就任、95年芸術監督退

任後、名誉芸術監督。バレエ界の数々の要職を歴任。85年大英帝国勲章 (CBE)、90年エリザベス2世戴冠賞、93年ナイト爵授与など。



【美術・衣裳】フィリップ・プロウズ (Philip PROWSE)

英国のスレイド・スクール・オブ・ファイン・アーツで学び、1961年にデザイナーとしてデビュー。演出家としても活躍し、1970~2003年までグラスゴウ市民劇場の共同芸術監督を務める。母校のスレイド・スクールで舞台美術を教え、後に同校の教授となった。



【照明】ピーター・タイガン (Peter TEIGEN)

ノルウェー・オスロ生まれ。英国に渡り、ロンドン・シティ・バレエなどで専属照明デザイナーとして活躍。フリーとなってからは、マシュー・ボーン、マーク・ボールドヴィン、デヴィッド・ビントレー、ピーター・ライトといった今日高く評価されている振付家たちとともに舞台を制作。現在、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ照明デザイン・コンサルタントとして海外公演における折衝役も担っている。



【指揮】富田実里 (TOMITA Misato)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『ジゼル』を指揮した。

配役・プロフィール

2023年7月	28日(金) 13:00	28日(金) 16:00	29日(土) 13:00	29日(土) 16:00	30日(日) 13:00	30日(日) 16:00
オデット/ オディール	米沢 唯	木村優里	柴山紗帆	米沢 唯	木村優里	柴山紗帆
ジークフリード 王子	渡邊峻郁	速水涉悟	井澤 駿	渡邊峻郁	速水涉悟	井澤 駿

【オデット/オディール】



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデーラ』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリストに昇格。

【ジークフリード王子】



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ジゼル』などの古典やR.ブティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーン、「Shakespeare THE SONNETS」、D.ドウソン『A Million Kisses to my Skin』などを踊り好評を博している。



速水涉悟 HAYAMI Shogo <ファースト・ソリスト>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』『くるみ割り人形』の主役のほか、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴェーリオ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロルなどを踊る。21年ファースト・ソリストに昇格。

公演概要

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2023

エデュケイションナル・プログラム『白鳥の湖』

Ballet for Children 2023

Educational Programme - First Steps: Swan Lake

芸術監督：吉田 都

振付：マリウス・ブティパ/レフ・イワーノフ/ピーター・ライト

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術・衣裳：フィリップ・プロウズ

照明：ピーター・タイガン

指揮：富田実里

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

出演：新国立劇場バレエ団

後援：渋谷区教育委員会／東京都公立小学校長会／東京私立初等学校協会

特別協賛：京王電鉄株式会社

協賛：株式会社 小学館／コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社／三菱重工機械システム株式会社

協力：株式会社 ロッテ

【公演日程】

2023年7月28日（金） 13:00／16:00

2023年7月29日（土） 13:00 **託児** /16:00 **託児**

2023年7月30日（日） 13:00／16:00

託児

託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

*開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 1 時間（休憩なし）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/educational-programme-swanlake/>

【チケット料金（税込）】

席種	こども（4歳から小学生）	おとな（中学生以上）
料金（税込）	2,750 円	5,500 円

※アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。

【前売り開始日】

一般発売日：2023年5月20日（土）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：518-146】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：33009】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

2023年「夏のこども劇場セット」のご案内

2023年の夏、新国立劇場では大人もこどもも楽しめるバレエと演劇を2作品上演します。感性が豊かに育まれる大切な時期のお子様にも、上質な舞台芸術を鑑賞していただきたく、この2作品をお子様と一緒に楽しめるお得なセット券「夏のこども劇場セット」をご用意しました。多彩なジャンルの作品を上演する新国立劇場ならではのセットです。こどもの頃に観る舞台は一生の宝物。この夏は、ぜひお子様と一緒に新国立劇場へ！

【セット券対象公演】

<バレエ公演> 7月 こどものためのバレエ劇場 エデュケーショナル・プログラム『白鳥の湖』

対象席種：全席指定 こども 2,750円 おとな 5,500円

<演劇公演> 7月 『モグラが三千あつまって』

対象席種：A席 こども 3,300円 おとな 6,600円

未来のおとなと、かつてのこどもたちへの音楽劇——
モグラ族のタロイモを狙うネコ族とイヌ族。そうはさせじとモグラ族も戦いにそなえて大きな地下都市を作り始め.....
NHK「ひよっこりひょうたん島」を手がけた武井博の平和への願いを込めた児童文学を長塚圭史、近藤良平、阿部海太郎が再びタッグを組んで舞台化！



【料金（税込）】

こどもセット **5,400円**（正価 6,050円から 10%割引）

おとなセット **9,600円**（正価 12,100円から 20%割引）

・こどもセットは、ご観劇当日に4歳以上小学6年生以下の方が対象となります。こどもチケットは、ご入場時に年齢を確認させていただく場合がございます。

【セット券発売日】

一般発売日 5月20日(土)10:00～

【お申込み方法】

2作品それぞれご希望のお日にちをお選びの上、新国立劇場ボックスオフィスへお電話、または窓口でお申し込みください。

新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999（電話 10:00～18:00/窓口 11:00～18:00、休館日を除き年中無休）

【チケット購入時の注意点】

- ・2作品のいずれかの公演が完売した時点で、セット券の販売は終了します。
- ・アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。車椅子をご利用のお客様は、各単券の発売日よりボックスオフィスまでお問い合わせください。
- ・おとなセットのみを単独でご購入いただくことはできません。必ずこどもセットと一緒に求めください。また、その際は同じセット内容（日時）でのご購入となります。